

電力広域的運営推進機関からの受電指示に伴う
電力受給のための接続供給に関する基本契約書

平成 年 月 日

株式会社
電力株式会社

電力広域的運営推進機関からの受電指示に伴う電力受給のための 接続供給に関する基本契約書

株式会社（以下「甲」といいます。）と 電力株式会社（以下「乙」といいます。）とは、甲乙間で締結した接続供給契約（以下「原契約」といいます。）に付帯し、甲が電力広域的運営推進機関の受電指示により調達した電気を特定規模電気事業の用に供する場合の電気の受電地点に係る事項の扱いに関し、次のとおり契約を締結します。

（定義）

第1条 本基本契約において、次の言葉はそれぞれ次の意味で使用するものとします。

（1）広域的運営推進機関

電力広域的運営推進機関をいいます。

（2）供給指示

広域的運営推進機関の業務規程第52条第1号に定める指示をいいます。

（3）受電指示

広域的運営推進機関の業務規程第52条第3号に定める指示をいいます。

（4）発電計画等

広域的運営推進機関の送配電等業務指針第8章に定める発電計画および業務規程第9章に定める利用計画をいいます。

（5）同時最大受電電力

受電地点において設備上使用できる最大受電電力を上限とした、本基本契約に係る接続供給契約と他の接続供給契約、振替供給契約等により同時に受電する電力の最大値をいいます。

（受電地点に係る事項の申込み）

第2条 甲は、広域的運営推進機関から受電指示を受けた際、託送供給約款9（検討および契約の申込み）（1）および（3）にもとづき、乙に原契約の受電地点に係る事項の申込みを行うものとします。

2 前項にかかわらず、指示の当日または翌日等に当該指示に基づく電気の供給を受ける場合には、甲の発電計画等の提出をもって、託送供給約款9（検討および契約の申込み）（4）に基づく原契約の受電地点に係る事項の申込みとします。

3 第1項および第2項において、甲は、当該発電計画等が、受電指示にもとづくものであることを明らかにすることとします。また、会社間連系点を受電地点とする場合で、同一の一般電気事業者の供給設備に接続する発電場所が複数あるときは、当該複数発電場所につき1申込みがなされたものとします。

4 第2項の申込みをもって、当該発電場所の受電側接続検討の申込みがなされたものとします。

(契約の成立)

第 3 条 第 2 条第 2 項の申込みに係る契約は、乙が承諾したときに成立するものとします。

なお、乙は、この承諾をもって甲に第 2 条第 4 項の受電側接続検討の回答をしたものとします。

(契約受電電力)

第 4 条 契約受電電力は、本基本契約にもとづく受電地点の発電計画の最大値 (受電地点の発電計画の値の変更が行なわれた場合は変更後の値とします。) に 2 を乗じてえた値とします。

(予備送電サービス契約電力)

第 5 条 受電地点について予備電線路を連系している場合は、当該受電地点の予備送電サービスを利用するものとします。

2 甲が、前項により予備送電サービスを利用する場合の予備送電サービス契約電力は、当該受電地点における契約受電電力の値とします。

(電力量の仕訳および端数処理)

第 6 条 受電地点において他の接続供給契約、振替供給契約等と同一計量する場合は、30分ごとの受電地点の電力量の計量値を、託送供給約款35 (託送供給の実施) によりあらかじめ定められたその30分の受電地点の電力量の計画値 (発電計画におけるその30分の接続受電電力量または振替受電電力量とします。以下「計画値」といいます。) および仕訳に係る順位 (優先順位および同順位内優先順位とします。) にもとづき、第 2 項および第 3 項によって仕訳し、仕訳によりえた値を、本基本契約にもとづく受電地点の電力量の計量値とみなします。

2 30分ごとの受電地点の電力量の計量値が、受電地点において同一計量する接続供給契約、振替供給契約等の各計画値の合計値以下となる場合は、次の各号により仕訳します。

(1) 優先順位が高い契約から順に、該当する契約にその計画値 (該当する契約の計画値が未仕訳の値をこえる場合は、未仕訳の値とします。また、優先順位同順位の該当する契約が複数あり、その各計画値の合計値が未仕訳の値をこえる場合は、未仕訳の値を該当する各契約の計画値の比で按分してえた値とします。) を充当することにより仕訳します。

(2) 前号の按分において端数が生ずる場合は、按分してえた各値の端数は、小数点以下第 1 位で四捨五入することとし、その四捨五入後の値の合計と、按分の対象とした未仕訳の値に差が生じた場合は、その差が零となるまで、按分してえた各値の四捨五入後の値を同順位内優先順位に従って 1 キロワット時ずつの加減を行なうことにより補正します。

なお 加算による補正は同順位内優先順位の昇順、減算による補正は降順で行ないます。

3 30分ごとの受電地点の電力量の計量値が、受電地点において同一計量する接続供給契約、振替供給契約等の各計画値の合計値をこえる場合は、次の各号により仕訳します。

(1) 各契約にその計画値を充当したうえで、各契約の計画値の合計値をこえる値 (以下「超過値」といいます。) については、最劣後の優先順位の契約に充当することにより仕訳します。

なお、最劣後の優先順位の契約が複数ある場合は、超過値を該当する各契約の計画値の

比で按分してえた値を該当する契約に充当することにより仕訳します。

(2) 前号の按分において端数が生ずる場合は、前項第2号に準じます。

(電力量の算定)

第7条 甲が受電指示を受けた場合の供給指示を受けた者が乙であった場合 託送供給約款28(電力および電力量の算定)(2)における「受電地点の電力量の計量値」および託送供給約款35(託送供給の実施)(1)イにおける「受電地点において当社が受電する30分ごとの電力量の値」は、甲が受電指示により調達した乙の電気のその30分の電力量を加えた値とします。

(発電計画等の通知)

第8条 甲が提出する発電計画の記載がなかった場合ならびに乙所定の様式および方法で通知されない場合、託送供給約款35(託送供給の実施)(1)二の仕訳に係る順位は99、同順位内優先順位は9とします。

2 受電地点において、他の接続供給契約、振替供給契約等と同一計量する場合、該当する各契約の計画値の合計値に2を乗じてえた値は、同時最大受電電力をこえることができないものとします。

3 計画値等の通知誤り、遺漏等(他の接続供給契約、振替供給契約等の契約者によるものも含みます。)により、甲、発電者等に損害が生じた場合、乙は一切の責めを負わないものとします

(基本契約の契約期間)

第9条 平成 年 月 日から平成 年 月 日までとします。

ただし、契約期間満了までに甲乙いずれからも異議の申し出がない場合は、契約期間満了後も1年ごとに同一条件で継続されるものとします。

なお、異議の申し出は契約期間満了に先だち相手方に対し、文書をもって行なうものとします。

(基本契約の変更)

第10条 乙が託送供給約款を変更する場合には、変更後の託送供給約款によるものとします。

また、その変更内容に応じて本基本契約を変更するものとします。

2 広域的運営推進機関における業務規程等が変更された場合も変更内容に応じて本基本契約を変更するものとします。

(基本契約の失効)

第11条 甲が次のいずれかの条件を満たさなくなった場合、本基本契約は失効するものとします。

(1) 甲が広域的運営推進機関の卸電気事業者以外の会員であること。

(2) 原契約が存在すること。

(準拠法等)

第12条 本基本契約は、すべて日本法に従って解釈され、法律上の効力が与えられるものとします。

2 本基本契約に関する訴訟については、 地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

(契約の継承)

第13条 甲が第三者と合併し、またはその事業の全部もしくは本基本契約に関係ある部分を第三者に譲渡しようとする場合には、甲は、本基本契約を譲受人に継承させるとともに、譲渡のときまでに発生した義務を譲受人が履行することについて乙に保証するものとします。

本基本契約締結の証として本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ各自その1通を保有します。

平成 年 月 日

甲 県 市
株式会社 (所属・職位)
印

乙 札幌市中央区大通東1丁目2番地
北海道電力株式会社
工務部長
印